

川上ダム通信

2020
11
月号



Vol. 183
Since 2005



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右の QR コードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中！
https://twitter.com/jwa_kawakami

ご意見・ご感想はこちらへ
e-mail: somu1@lily.ocn.ne.jp

建築工事も着々と進んでいます！



管理棟建屋の進捗状況

令和2年7月より始まった川上ダム管理棟の工事は、地下1階の基礎及び柱・梁工事まで完了しています。

地下1階はダム堤体内の監査廊（点検用の通路）に直接通じており、ダム管理の点においても重要なフロアです。同時に、地中に含む雨水などからの漏水リスクもあるため、コンクリートにひび割れが生じないように慎重かつ丁寧な施工が求められます。

現在は1階基礎のコンクリート打設に向けて、建物の重要な骨組みである柱、梁及び壁の鉄筋・型枠工事が進められています。

11月初旬に1階基礎のコンクリートの打設予定ですが、建物の出来映えに直接影響し、やり直しの出来ない一発勝負の重要な工程です。故に型枠を外して仕上がりを確認するときにはとても緊張感がありますが、同時にとても楽しみであり達成感のある瞬間です。

また、管理棟の新築と並行して川上ダム水力発電設備の建屋も着々と進んでいます。

川上ダム水力発電設備は2基の水車により最大819kWの発電能力があり、発電された電力は川上ダムの管理用に使用されます。



発電設備建屋の進捗状況

この重要な設備を設置するための建屋は、鉄骨造で外壁はコンクリートパネル仕上げとなっており、現在ダム堤体下流の減勢工右岸側において建築中です。この建屋も管理棟と同様に川上ダム景観コンセプトに基づいて設計されています。今後は、ダム堤頂にも取水設備などのための建屋を建築していきます。

ダム堤体コンクリート打設の最盛期に合わせ、建築工事も着々と進んでいますので、ぜひご注目下さい。

【工務課 山本健二】



現場見学会を実施しました！

～今しか見られないダム工事現場へ～



ダム周辺地区の方より現場見学会の申し込みがあり、令和2年8月25日（火）及び9月9日（水）に桐ヶ丘地区の方、9月26日（土）に博多地区の方への現場見学会を実施しました。現場見学会ではダムサイト右岸にある観眺台及び工事現場内にある奥深瀬展望台などにご案内しました。普段は入ることのできない工事現場内の見学とあって、大変好評でした。

見学された方々からは、コンクリートを運んでいるタワークレーンの高さや設置中である監査廊の役割など、工事内容について多くのご質問をいただき、ダム建設事業に高い関心を持っておられると感じました。

来年の春にはダム本体打設工事が完了し、その秋には試験湛水が始まる予定です。地域の皆さまとの信頼関係を深めながら着実に建設事業を進めていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



観眺台から工事をご覧になっています
(8月25日（火）)



高くなったダムを見上げています
(9月9日（水）)



工事内容の質問もいただきました
(9月26日（土）)

【用地課 近藤 扶】

新人も発表！！先輩方の姿を見て

～in 令和2年度技術研究発表会～



令和2年9月9日（水）に令和2年度関西・吉野川支社淀川本部管内技術研究発表会が開催されました。本発表会は、研究や創意工夫した業務の報告などを行うことで技術力の向上を図るとともに、職員の自己啓発と研究意欲を喚起することが目的です。今年度は新型コロナウイルス感染予防対策としてWebでの発信となりました。全15題の発表の内、当建設所からは5題の発表を行い、審査の結果2題が優秀賞をいただきました。

入社1年目の筆者は川上ダムの周辺整備計画について発表しました。うまく伝えられるか不安もありましたが、審査員のうなずきで伝わったことを実感しほっとしました。また、先輩方の発表を聴き、資料の構成など自身の発表の改善点を見つけることができました。



筆者の発表のようす
(審査員と発表者のみ会場へ集まり、発表の状況をWeb発信しました)

優秀賞（川上ダム建設所より発表）

題名：ジェットフローゲート水密性能向上における一考察
～シールリング形状に着目して～
発表者：下園 英世（機械課）

題名：ICTを活用したダム施工監理の効率化
発表者：渡邊 峻（工事課）

優秀賞に選ばれた方は、12月8日（火）に埼玉県の本社で開催される発表会で発表することとなります。筆者は受賞できませんでしたが、今回の気づきから次こそは優秀賞の受賞を目指したいと思います。

機構では職員一同、これからも技術力の向上とともに自己研鑽に努めていきます。

【調査設計課 北爪 皓】

令和2年度第3回安全協議会の開催

安全第一

—安全パトロール、安全協議会長による表彰—



工事現場を安全パトロールしました

安全パトロール後、安全協議会長（川上ダム建設所長）による奨励賞表彰を執り行いました。この表彰は、現場での安全意識の向上を目的に、工事業務の元請業者からの推薦に基づき、当建設事業の現場作業において労働災害防止に関わる安全行動で特に模範となる現場作業員の方を奨励するため、昨年度より実施しております。今回は令和2年度上半期の工事を対象に、8業者より8名の現場作業員の方を表彰しました。

川上ダム安全協議会は、今後も安全第一に無事故で事業が推進されるべく、活動に取り組んでいきます。

当建設所では、工事現場の安全点検や受注者への指導などを目的として年に5回、安全協議会を開催しています。

令和2年9月16日（水）には、令和2年度の第3回安全協議会を開催し、当建設所職員や労働安全コンサルタントによって毎月実施している工事現場の安全パトロール結果を周知し、現場における労働災害に繋がるおそれのある事例や安全対策などで模範となる良い事例を共有しました。その後、管理棟新築工事の現場に向かい、安全パトロールを行いました。

奨励賞受賞者の所属会社

川上ダム本体建設工事

- ・上武建設株式会社
- ・株式会社セイア
- ・株式会社村中
- ・株式会社和弘建設
- ・株式会社林商店
- ・株式会社道徳プラント工業

川上ダム右岸天端造成工事

- ・株式会社ヤマタケ

川上ダム流入水バイパス建設工事

- ・株式会社NIS

【工務課 山田 聖】

大地震に備えよ。地震防災訓練の実施



防災本部で情報を収集します

令和2年9月1日（火）に地震防災訓練を実施しました。地震防災訓練では、地震発生時における防災業務を円滑かつ適切に実施するとともに、防災意識の向上、対応能力の向上を図ることを目的とし、午前8時頃に東海・東南海・南海の連動地震により伊賀市・名張市において、震度6弱の地震が発生したという想定で実施しました。

訓練では、防災本部の設置、施設の臨時点検、情報の収集及び伝達、発動発電機の起動など、地震発生後に実施すべき内容や作業手順を確認しました。また、地震に伴い工事現場に設置されている機械から油が漏れたという状況を想定し、吸着マットによる油処理や状況報告の訓練を行いました。

訓練実施後の反省会では、職員全員が訓練を振り返り、訓練時の問題点・改善点を洗い出すことで、今後の防災業務に適切に対応できるよう意見を出し合いました。

本訓練を通して確認できた課題については早急に見直しを行い、地震の際の備えを万全にすることで、想定外を想定内にできるよう対応していきます。

【工務課 今枝浩司】



吸着マットによる油処理の訓練中です

減勢工の導流壁打設完了!

川上ダムの減勢工のうち、導流壁部のコンクリート打設が完了しました。

減勢工とは、ダム（少し高いところ）から放流された勢いの付いた水によって下流の河道などに影響を与えないよう、増大した流水エネルギーを弱める働きをする構造物です。

今回、打設が完了したのは、文字通り「流水の勢いを減らす」減勢工内の「流れを導くための壁」である導流壁の部分となります。副ダムも含めて、減勢工全体の打設が完了するのは来年の秋頃です。

この減勢工の導流壁など、川上ダムの建設状況については10月1日(木)より開放時間が延長された『WELCOME 川上ダム 観眺台』から眺めることができますので、完成に向けて日々進捗していく『川上ダム』を眺めに是非足を運んでみて下さい。

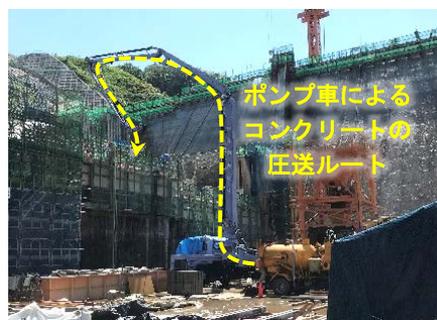
※『WELCOME 川上ダム 観眺台』の開放時間延長については、下記のお知らせ、または川上ダム建設所HPをご覧ください。



導流壁の位置（10月7日撮影）



完成した導流壁（9月10日撮影）



導流壁の打設コンクリートはポンプ車で圧送します（5月29日撮影）

~本体外工事の進捗状況~

■ :完了 ■ :施工中 ■ :未実施

転流工		基礎掘削	堤体打設・基礎処理	試験湛水	完成!
H30.4▼	H30.9▼	H31.4▼	▼現在	▼R3.10	
仮排水路 トンネル	仮締切工		堤体打設進捗率72.7% 基礎処理進捗率24.8%		(R5.3予定)
			(9月末時点)		

【工事課 飯島芳則】

「WELCOME 川上ダム観眺台」の開放時間を延長しました

10月1日(木)より、WELCOME 川上ダム観眺台の開放時間を、以下の通り延長しました。

平日・土曜 8:30~19:00

日曜・祝日 8:30~16:30 (変更なし)

夜間の観眺台は大変暗いので、ライトをお持ちください。また、ご利用にあたっては、ソーシャルディスタンスの確保など、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。



編集後記

先日、3年ぶりに登山をしました。体力の衰えが心配でしたが、天候に恵まれたことに加え、貯めた給料で買い揃えた本格的な装備で補完したことで無事登頂でき、頂上で食べたカップラーメンは至福の味でした。

この季節は、新しいことに挑んだり、昔の趣味を再開するには最適な気候ですね。皆さまも、この過ごしやすい気候の後押しを受け、何か新しいことにチャレンジしてはいかがでしょうか？

【広報誌発行事務局】

編集長 洲上 (所長)
 デスク 堀口 (総務課長) 渡辺 (工務課長)
 記者 山口 (総務課) 近藤 (用地課)
 北爪 (調査設計課) 戎谷 (環境課)
 山田 (工務課) 渡邊 (工事課)
 下園 (機械課)

川上ダム工事現場見学会のご案内

川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくため、毎月第3日曜日に午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を開催中です。

【第24回】令和2年11月15日(日)
 →大好評につき、参加受付は終了しました。

【第25回】令和2年12月20日(日)
 →11月2日(月)より募集開始予定です!

